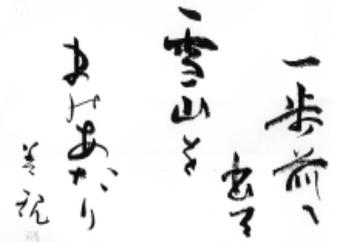




一歩前へ



糸魚川市立下早川小学校 標高 92m 児童数 67 名 令和 4 年 7 月 5 日発行 第 4 号

URL <https://www.itoigawa.ed.jp/tukimizu/>または[下早川小学校](#)で検索（カラー版でご覧いただけます。）

6年生 修学旅行

6月16日(木)・17日(金)の両日に、6年生が修学旅行に行ってきました。今年度も県内の中・下越方面に行ってきました。

燕市では、糸魚川とはかなり異なる産業の様子を見学、体験し、美しい色合いのスプーンをつくらせてもらいました。県央地場産センター内のレストラン「Bit」でパスタに舌鼓を打ち、新潟市の県立自然科学館で科学技術について知ることができました。アイスアリーナでのスケート体験は、スキーに乗り慣れているためかすぐに滑れるようになりました。(大リンクではあの安藤美姫さんが指導をしていました！)

宿泊先は鳥屋野潟湖畔の純和風旅館。食べきれないくらいのごちそうを出していただき、宿の人に仕事についてのインタビューをし、大浴場を堪能して、ふとんを敷いて枕を並べて泊まってきました。寝る前には全員でゲームをして盛り上がりました。

2日目は県庁展望台や県議会議場を見学したり、おせんべいの手焼き体験をしたりしました。そして最後のお楽しみ、サントピアワールド(遊園地)では、友だちと目いっぱいアトラクション(乗り物)を楽しんできました。2日間でたくさんの知識を得て、10人の絆をさらに深めることができた旅でした。



お世話になっています 防犯パトロール員の皆様 (敬称略)

通学団	氏名	地区	通学団	氏名	地区	
上早川・中早川 通学団	樋口 善栄	湯川内	新町・東海通学団	松沢 正夫	新町	
	恩田 良男	大平		杉本 光廣	新町	
	加藤 裕二	宮平		池原 芳郎	新町	
	島田 敏彦	越		伊野 啓一	新町	
	串橋 代六	西塚		伊野 昌子	新町	
	片山 肇	谷根		高瀬 正平	ひばの木	
新道・月不見 滝川原通学団	間島 治	滝川原	中野・ひばの木 通学団	富田 一弥	ひばの木	
	曾根 洋	日光寺		田屋通学団	磯貝 一夫	田屋
	小川 卓	新道			渡辺 武	田屋
赤沢・中和・育郷 通学団	渡邊 強	清水山	☆登下校でお世話になっている防犯パトロール員の皆様です。見守り大変ありがとうございます。この場をお借りしてお礼申しあげます。			
	岡田 和正	赤沢				
	小林 峯登	上覚				

学校に限らず、世の中にはいろいろな人がいます。勉強が得意な人、運動が得意な人、絵をかくのが得意な人、話をするのが得意な人・・・逆に、不得意なこともありますね。ちょっと自分の得意なことを頭の中で考えてみましょう。それぞれみんなちがいます。一人一人が違っていてよく、それが一人一人の個性です。

そんな個性が違う人が集まって、みんながよくなっていけるように、力を合わせ、協力し合って生活するところが学校であり、学級です。そこでは、自分のことばかり考えずに、相手のことを思いやって生活することがとても大切になります。これは学校だけではなく、世の中でとても大事なことです。自分のことばかり考えなかった例を一つ紹介します。

あるところに、あまり人気のない温泉町があったそうです。いくつかある旅館は、それぞれ自分のところさえよければという考えで、周りよりも目立つ看板を競って建てたため、バラバラ感がすごくなってもっと景色が悪くなり、その温泉町はさらにお客が減っていったそうです。

そんな中で、1軒だけ人気のある旅館の人が、このままではこの温泉町が滅びてしまうと心配して、次のように呼びかけました。「人気が出る方法を教えるから、競争をやめよう。看板を派手にするのではなく、中身で勝負。美しい庭やゆったりした露天風呂、名物料理をつくって、温泉町の雰囲気盛り上げれば必ず人気が出る」と呼びかけました。

最初は、見向きもされませんでした。その旅館だけは相変わらず人気が続いているので、ぽつりぽつりとまねをする旅館が出てきました。すると、どんどんお客さんが来るようになったそうです。しまいには、どの旅館も中身で勝負するようになり、たくさんの旅館が人気の宿になって、その温泉町は人気の観光地になっていったそうです。

そして、呼びかけを始めた、もともと人気があった旅館は、「予約がなかなか取れない温泉宿」として、もっと人気が出たのです。みんなのためと思って呼びかけたことが、結果として自分のためにもなったのです。

5年生や6年生は、宿泊体験学習や修学旅行でこの「みんなのために」や「みんなで力を合わせて」ということを行ってきました。また、「夏の下小フェス」では、全校の皆さんが「みんなのために」や「みんなで力を合わせて」ということを行いました。「みんながよくなることやみんなが喜ぶことを考えて、みんなのために行動する」ことで、結局自分が得をすることがよくあります。皆さんもぜひ、心がけてみてください。そうすればこの下小がより一歩前に進んだ、素晴らしい学校になることでしょう。

夏の句会を行いました

6月24日(金)に、猪又秀子先生をお招きして、夏の句会を行いました。暑い日でしたが、1～3年生と4～6年に分かれて先生と日光寺周辺を散策し、季語を探しました。

学校に戻り、見つけた季語で句を詠みました。どの子も自分の感性で気づいた「夏」を詠むことができました。



六月句会の秀句

一年生

○おべんとう ときどきはいる さくらんぼ

二年生

○あまがえる グワグワグワと うたってる

○あじさいの はっぱにたまる みずたまり

三年生

○川で見る ほたるの光 きれいだな

四年生

○梅雨の前 さいごの晴れは 大切に

五年生

○梅雨晴れて 羽出し空へ 小鳥達

六年生

○青田見て 心おだやか 散歩道